

財務報告書 2021

令和 2 事業年度

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日



北海道公立大学法人札幌医科大学

目次

1. 財務概要	…P1
2. 令和2事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去6年間の推移	…P9
4. 財務指標（年度間比較）	…P18
5. 資料編	
(1) 貸借対照表	…P21
(2) 損益計算書	…P24

○財務概要

資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は令和2年度末における財務状態を表したものです。
「資産」は前年度比23億円増加の590億円、「負債」は前年度比12億円増加の157億円、また「純資産」は前年度比12億円増加の434億円となっています。

貸借対照表

【令和3年3月31日】

(単位：億円)

区分	元年度	2年度	増減
資産の部	567	590	23
【固定資産】	476	465	▲ 11
土地	119	119	0
① 建物等	281	272	▲ 9
② 備品	65	63	▲ 2
図書	9	9	0
その他固定資産	2	2	0
【流動資産】	91	126	35
③ 現金・預金	33	51	18
有価証券	0	0	0
④ その他流動資産	58	75	17
資産合計	567	590	23

区分	元年度	2年度	増減
負債の部	145	157	12
⑤ 資産見返負債	26	31	5
借入金	16	15	▲ 1
⑥ 未払金	48	58	10
寄附金債務	10	11	1
その他負債	45	41	▲ 4
純資産の部	422	434	12
資本金	438	438	0
資本剰余金	▲ 47	▲ 56	▲ 9
⑦ 利益剰余金	31	51	20
負債・純資産合計	567	590	23

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

資産の部

①建物等：272億円（9億円減少）

- ・ 施設整備等による増
- ・ 減価償却等による減

②備品：63億円（2億円減少）

- ・ 新規取得等による増
- ・ 減価償却等による減

③現金・預金：51億円（18億円増加）

- ・ 当期総利益による増

④その他流動資産：75億円（17億円増加）

- ・ 新型コロナウイルス関連補助金等の未収分による増

負債の部

⑤資産見返負債：31億円（5億円増加）

- ・ 資産取得による増
- ・ 減価償却による減

⑥未払金：58億円（10億円増加）

- ・ 4月以降支払い予定の工事費、備品費等の増

純資産の部

⑦利益剰余金：51億円（20億円増加）

- ・ 当期総利益による増

費用・収益の状況

「損益計算書」は令和2年度の運営状況（経営成績）を表したものです。
 「経常費用」は前年度比8億円増加の368億円、「経常収益」は前年度比31億円増加の388億円です。
 この差額に臨時損益を加えた当期総利益は、前年度比21億円増加の20億円です。

損益計算書

【令和2年4月1日～令和3年3月31日】

(単位：億円)

区分	元年度	2年度	増減
教育・研究等経費	21	21	0
① 診療経費	171	178	7
受託研究・事業費	4	5	1
② 人件費	158	160	2
一般管理費	6	6	0
財務費用	0	0	0
経常費用	360	368	8
臨時損失	1	0	▲1
当期総利益	▲1	20	21
計	360	388	28

区分	元年度	2年度	増減
③ 運営費交付金収益	65	69	4
④ 附属病院収益	265	253	▲12
学生納付金収益	8	8	0
外部資金収益	11	12	1
⑤ 補助金収益	2	39	37
その他収益	6	7	1
経常収益	357	388	31
臨時利益	1	0	▲1
繰越積立金取崩	2	—	▲2
計	360	388	28

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

経常費用

① 診療経費：178億円（7億円増加）

- ・ 医薬材料費の増
- ・ 機器賃借料の増
- ・ 新型コロナウイルス関連経費の増

② 人件費：160億円（2億円増加）

- ・ 退職手当の増
- ・ 新型コロナウイルス対応に伴う特殊勤務手当の増

経常収益

③ 運営費交付金収益：69億円（4億円増加）

- ・ 運営費交付金の受入額の増

④ 附属病院収益：253億円（12億円減少）

- ・ 入院患者数の減に伴う入院診療収益の減

⑤ 補助金収益：39億円（37億円増加）

- ・ 新型コロナウイルス関連補助金の増

○令和2年度財務諸表の要約

貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部		
I	固定資産	46,466
1	有形固定資産	46,293
	土地	11,880
	建物	26,385
	構築物	817
	工具器具備品	6,327
	図書	833
	その他	50
2	無形固定資産	123
	特許権	27
	ソフトウェア	64
	その他	32
3	投資その他の資産	50
	投資有価証券	-
	未収財源措置予定額	-
	その他	50
II	流動資産	12,571
	現金及び預金	5,112
	未収学生納付金収入	-
	未収附属病院収入	4,687
	有価証券	-
	医薬品及び診療材料	609
	たな卸資産	11
	未収入金	2,139
	その他	14
	資産合計	59,037

負債の部		
I	固定負債	7,096
	資産見返負債	3,136 ※1)
	長期寄附金債務	418
	長期借入金	1,549
	引当金	-
	長期未払金	1,993
	資産除去債務	-
II	流動負債	8,573
	運営費交付金債務	362
	寄附金債務	1,107 ※2)
	前受受託研究費等	344
	一年以内返済長期借入金	639
	未払金	5,780 ※3)
	その他	341
	負債合計	15,669

純資産の部		
I	資本金	43,825 ※4)
II	資本剰余金	▲ 5,571 ※5)
III	利益剰余金	5,113
	前中期目標等期間繰越積立金	3,120 ※6)
	目的積立金	-
	積立金	-
	当期未処分利益	1,993
	純資産合計	43,367
	負債・純資産合計	59,037

運用状況	
【流動資産】	資産のうち、1年以内に現金化されるもの
【固定資産】	業務目的を達成するために所有し、加工又は売却を予定しない財貨

調達源泉	
【純資産】	業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連した剰余金
【流動負債】	負債のうち、1年以内に返済または支払うもの
【固定負債】	負債のうち、1年を超える長期にわたって返済又は支払うもの

- ※1) 資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄附金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。
当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための地方独立行政法人独自の勘定科目です。
- ※2) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高です。
- ※3) 未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金及びその他の未払金です。
- ※4) 資本金～道出資金（法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等）の総額です。
- ※5) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。
当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに、資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。
- ※6) 前中期目標期間繰越積立金～前中期目標期間から繰り越しが認められた剰余金です。

損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

		(単位：百万円)	
費用	経常費用		36,847
	業務費		36,291
	教育経費		512
	研究経費		1,139
	診療経費		17,776
	教育研究支援経費	※1)	457
	受託研究費		283
	共同研究費		67
	受託事業費等		99
	人件費		15,956
一般管理費		555	
財務費用	※2)	2	
収益	経常収益		38,843
	運営費交付金収益		6,928
	授業料等収益		797
	附属病院収益		25,274
	受託研究収益		302
	共同研究収益		81
	受託事業等収益		218
	寄附金収益		579
	施設費収益		25
	補助金収益		3,928
	資産見返負債戻入	※3)	328
	財務収益		1
雑益		383	
	経常利益		1,996
	臨時損失		5
	臨時利益		2
	当期純利益		1,993
	前中期目標等期間繰越積立金取崩額		-
	当期総利益		1,993

【業務費】

- ・目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類
- ・「教育経費」「研究経費」等の業務費は、施設設備に係る減価償却費・保守経費を含む
- ・「受託研究費」「共同研究費」「受託事業費等」は、受託研究等に係る人件費を含む

【経常収益】

- ・「運営費交付金収益」及び「授業料等収益」は、資産を取得した分を除いた収益額
- ・「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定の額は債務（流動負債）として翌期へ繰越

【臨時損失】

- ・臨時損失は、訴訟関連費用を計上

※1) 教育研究支援経費～附属総合情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2) 財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息

(償還利率 ㉗0.35%、㉘0.125%、㉙0.125%、㉚0.01%及び0.1%、㉛0.001%及び0.125%、㉜0.001%)

※3) 資産見返負債戻入～運営費交付金、授業料、寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、損益を均衡させます。

キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュフロー	3,917	
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 18,066	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【業務活動】 教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの </div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 業務活動による資金調達 39億円 </div>
人件費	▲ 15,916	
その他の業務支出	▲ 549	
運営費交付金収入	7,390	
授業料収入	650	
入学金収入	79	
検定料収入	13	
附属病院収入	25,352	
受託研究収入	362	
共同研究収入	63	
受託事業等収入	227	
補助金等収入	3,195	
補助金等の精算による返還金の支出	▲ 3	
寄附金収入	683	
預り科学研究費補助金等増減	38	
その他収入	400	
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,163	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【投資活動】 固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの </div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 投資活動への資金利用 ▲12億円 </div>
有価証券の取得による支出	▲ 347	
有価証券の償還による収入	347	
有形固定資産の取得による支出	▲ 1,505	
無形固定資産の取得による支出	▲ 31	
定期の預入による支出	▲ 1,000	
定期の払出による収入	1,000	
施設費による収入	372	
利息及び配当金の受領額	1	
III 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 948	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【財務活動】 借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの </div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 財務活動への資金利用 ▲9億円 </div>
長期借入れによる収入	580	
長期借入金返済による支出	▲ 610	
ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 917	
利息の支払額	▲ 2	
IV 資金に係る換算差額	-	
V 資金増加額 (I + II + III + IV)	1,806	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 令和2年度キャッシュ増加額 18億円 </div>
VI 資金期首残高	3,306	
VII 資金期末残高 (V + VI)	5,112	

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを

「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

行政サービス実施コスト計算書～住民等が負担するコストを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

		(単位：百万円)	
I	業務費用	9,232	<p>道からの財源で賄われているコスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 損益計算書における費用から授業料収益や病院収益等の自己収入を差し引いたもの <p>(1) 損益計算書の費用：369億円</p> <p>(2) (控除) 自己収入等：276億円</p> <p>業務費用：93億円</p>
	(1) 損益計算書上の費用	36,852	
	業務費	36,291	
	一般管理費	555	
	財務費用	2	
	臨時損失	5	
	(2) (控除) 自己収入等	▲ 27,620	
	授業料収益・入学生料収益・検定料収益	▲ 797	
	附属病院収益	▲ 25,274	
	受託研究等収益	▲ 302	
	共同研究収益	▲ 81	
	受託事業等収益	▲ 218	
	寄附金収益	▲ 579	
	資産見返運営費交付金等戻入	-	
	資産見返寄附金戻入	▲ 97	
	財務収益	▲ 1	
	雑益	▲ 270	
	臨時利益	▲ 2	
II	損益外減価償却相当額	1,395	<p>損益計算書に計上されていないコスト：16億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道から出資された資産等の減価償却や、一部の退職手当等、制度上費用に反映されない負担相当額
III	損益外減損損失相当額	1	
IV	損益外利息費用相当額	0	
V	損益外除売却差額相当額	0	
VI	引当外賞与増加見積額	▲ 2	<p>免除もしくは軽減されているコスト：14億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道、市町村等の資産利用に関して北海道公立大学法人ゆえに優遇された相当額
VII	引当外退職給付増加見積額	232	
VI	機会費用	1,409	<p>免除もしくは軽減されているコスト：14億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道、市町村等の資産利用に関して北海道公立大学法人ゆえに優遇された相当額
	・ 国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	1,363 ※1)	
	・ 地方公共団体出資の機会費用	46 ※2)	
VII	(控除) 設立団体納付金	-	
VIII	行政サービス実施コスト	12,267	行政サービス実施コスト：123億円

※1) 道、市町村等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法：
近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

※2) 地方公共団体出資の機会費用の計算に使用した利率：
令和2年3月末における10年国債の利回り0.12%を参考に計算しています。

利益の処分に関する書類

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

I 当期末処分利益	1,993
当期総利益	1,993

II 利益処分類	1,993
目的積立金	1,838
積立金	155

決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
収入	38,807	40,893	2,086	
運営費交付金	7,437	7,437	0	
施設整備費補助金	627	614	▲ 13	(※1)
自己収入	29,097	31,092	1,995	
授業料及び入学検定料収入	813	797	▲ 16	(※2)
附属病院収入	27,774	25,274	▲ 2,500	(※3)
雑収入	510	5,021	4,511	(※4)
受託研究等収入及び寄附金収入等	927	1,170	243	(※5)
長期借入金収入	595	580	▲ 15	(※6)
繰越積立金取崩収入	124	0	▲ 124	(※7)
支出	38,807	38,613	▲ 194	
業務費	36,067	36,003	▲ 64	
教育研究経費	1,725	1,661	▲ 64	(※8)
診療経費	17,286	17,870	584	(※9)
人件費	16,464	15,956	▲ 508	(※10)
一般管理費	592	517	▲ 75	(※11)
施設整備費	1,221	1,170	▲ 51	(※12)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	907	828	▲ 79	(※13)
長期借入金償還金	612	612	0	
収入－支出	-	2,280	2,280	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- ※1) 入札結果に基づく契約確定額の減等により、予算額に比して決算額が13百万円減少しました。
- ※2) 大学院入学者数の減に伴う授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が16百万円減少しました。
- ※3) 入院患者・外来患者の減少等により、予算額に比して決算額が2,500百万円減少しました。
- ※4) 新たな補助金の獲得等により、予算額に比して決算額が4,511百万円増加しました。
- ※5) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が243百万円増加しました。
- ※6) 病院既存棟改修工事の工程変更に伴う移転費用が減額したため、予算額に比して決算額が15百万円減少しました。
- ※7) 繰越積立金を取り崩さなかったため、予算額に比して決算額が124百万円減少しました。
- ※8) 各種経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が64百万円減少しました。
- ※9) 医薬材料費比率の上昇等により、予算額に比して決算額が584百万円増加しました。
- ※10) 教職員人件費や退職手当所要額の減により、予算額に比して決算額が508百万円減少しました。
- ※11) 各種経費の節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が75百万円減少しました。
- ※12) 注1、注6に示した理由等により、予算額に比して決算額が51百万円減少しました。
- ※13) 寄附金事業費等の減により、予算額に比して決算額が79百万円減少しました。

○過去6年間の推移

財務情報一覧

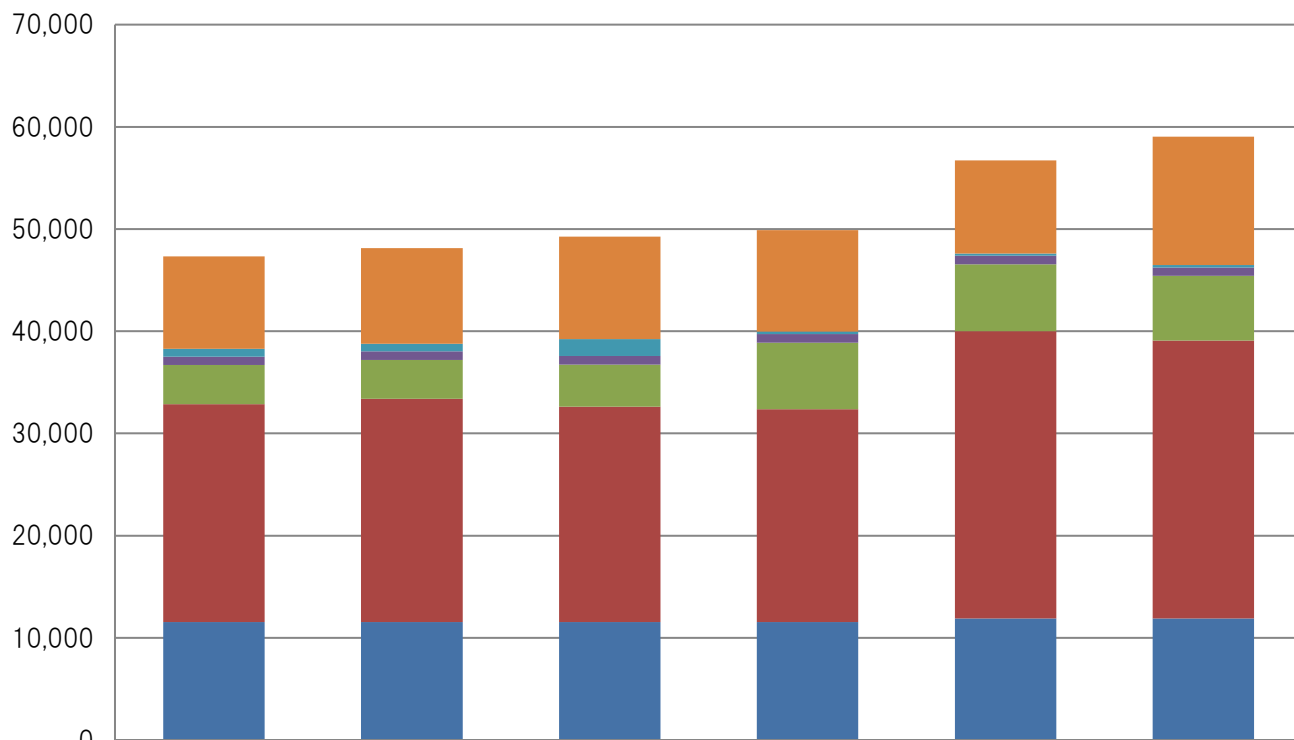
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位：億円)

区分	情報の種類	項目等	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	ページ
資産・負債 ・純資産	年度末時点 での財務の 状況	資産	473	481	492	499	567	590	P10 ～ P11
		うち固定資産	382	388	392	400	476	465	
		負債	114	118	135	144	145	157	
		うち借入金	13	13	17	16	16	15	
		純資産	359	363	357	355	422	434	
費用・収益	1年間の財務 運営の状況	経常費用	325	324	335	345	360	368	P12 ～ P13
		うち人件費	154	152	156	156	158	160	
		経常収益	326	326	337	343	357	388	
		うち運営費交付金	61	59	62	66	65	69	
利益と 利益処分	利益の発生 要因	当期総利益	1	0	1	5	▲1	20	P14
		目的積立金	1	0	1	-	-	18	
		繰越積立金	-	-	-	-	▲1	-	
		積立金	-	-	-	5	-	2	
附属病院 業務損益	附属病院の 1年間の財務 運営状況	業務費用	240	243	249	260	276	283	P15
		業務収益	240	243	249	257	272	301	
		業務利益	0	0	0	▲3	▲4	17	
キャッシュ ・フロー	資金の流れ (活動ごとの 現金の収入 と支出の差)	業務活動	24	12	15	14	11	39	P16
		投資活動	▲13	▲6	▲9	▲11	▲7	▲12	
		財務活動	▲7	▲6	▲3	▲8	▲9	▲9	
		資金期末残高	41	40	43	38	33	51	
業務実施 コスト	本学への 住民負担	実施コスト	85	87	93	112	99	123	P17

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

資産

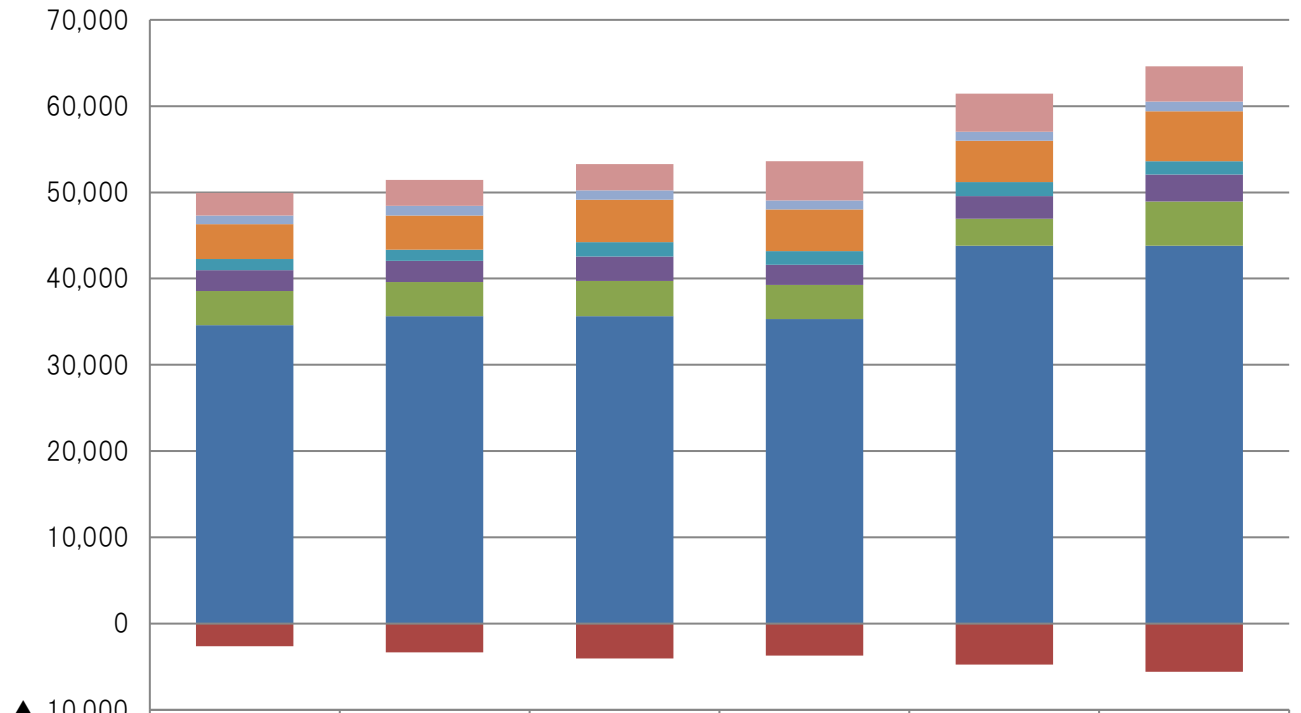


流動資産	9,060	9,343	10,032	9,921	9,107	12,571
その他	749	753	1,623	224	211	223
図書	839	843	850	854	857	833
設備	3,830	3,818	4,138	6,509	6,524	6,327
建物	21,310	21,839	21,071	20,839	28,130	27,202
土地	11,544	11,535	11,535	11,535	11,880	11,880

(単位: 百万円)

区分	2年度	構成比	資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
流動資産	流動資産	21.3%	・現預金、有価証券(1年以内) ・未収附属病院収入 ・未収学生納付金収入 ・病院医薬品在庫	3,464	・現預金増1,806 ・保険者へ請求中の額の減に伴う未収減▲68 ・病院医薬品等の在庫増128 ・補助金未収入金増1,626
固定資産	図書等	その他	・建設仮勘定 ・特許権 ・長期貸付金	12	・建設仮勘定の増7 ・無形固定資産等の増6
		図書	・書籍 ・CD-ROM ・雑誌(製本済みのもの)	▲24	・図書等除却による減▲24
	設備建物	設備	・実験、診療器具 ・車両運搬具	▲197	・工具器具備品取得による増1,585 ・減価償却費等の増▲1,831
		建物	・校舎、研究所 ・病院 ・宿舎、学生寮 ・ファミリーハウス	▲928	・施設整備等による増482 ・減価償却費等の増▲1,410
	土地	土地	・上記の敷地 ・グラウンド	0	

負債・純資産

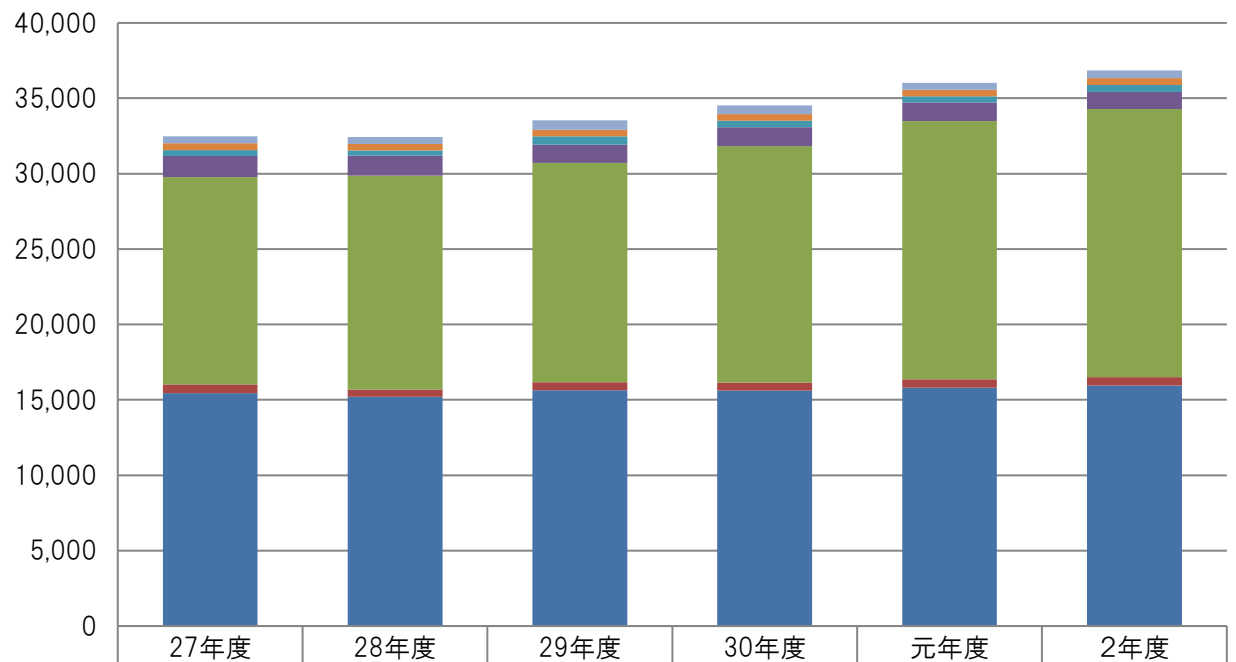


	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
▲ 10,000						
■ その他債務	2,629	3,032	3,048	4,541	4,426	4,097
■ 寄附金債務	998	1,107	1,066	1,053	1,028	1,107
■ 未払金	4,042	3,979	4,945	4,837	4,805	5,780
■ 借入金	1,300	1,300	1,659	1,583	1,608	1,549
■ 資産見返負債	2,409	2,426	2,821	2,334	2,632	3,136
■ 利益剰余金	3,974	3,982	4,105	3,922	3,120	5,113
■ 資本剰余金	▲ 2,605	▲ 3,330	▲ 4,029	▲ 3,716	▲ 4,735	▲ 5,571
■ 資本金	34,585	35,635	35,635	35,328	43,825	43,825

(単位：百万円)

区分	2年度	構成比	負債・純資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
負債	その他債務	6.9%	・繰越して使用予定の交付金 ・繰越して使用予定の受託研究費 ・預り科学研究費補助金等	▲ 329	・長期未払金の減▲823 ・運営費交付金債務の増314
	寄附金債務	1.9%	・繰越して使用予定の寄附金	79	・寄附金債務の増79
	未払金	9.8%	・令和3年4月支払の経費	975	・4月以降支払予定の未払金 (工事、工事器具備品等)の増975
	借入金	2.6%	・大学病院の借入金残高 (機器整備)	▲ 59	・北海道からの借入金の減▲59
	資産見返負債	5.3%	・建築設備取得に使用した交付金、 授業料、寄附金の減価償却費を 除いた残高	504	・道からの承継資産償却額の減▲61 ・補助金財源償却額の増571 ・寄附金財源の購入に伴う減▲50
純資産	利益剰余金	8.7%	・繰越積立金(第1・2期分) ・未処分利益(当期総利益)	1,993	・当期総利益1,993
	資本剰余金	-9.4%	・施設費や目的積立金による固定 資産の取得額 ・当期の損益外減価償却累計額	▲ 836	・施設整備等による増560 ・減価償却費等の増▲1,392
	資本金	74.2%	・法人移行時に道から土地・建物 等の現物で受けた出資金	0	

経常費用

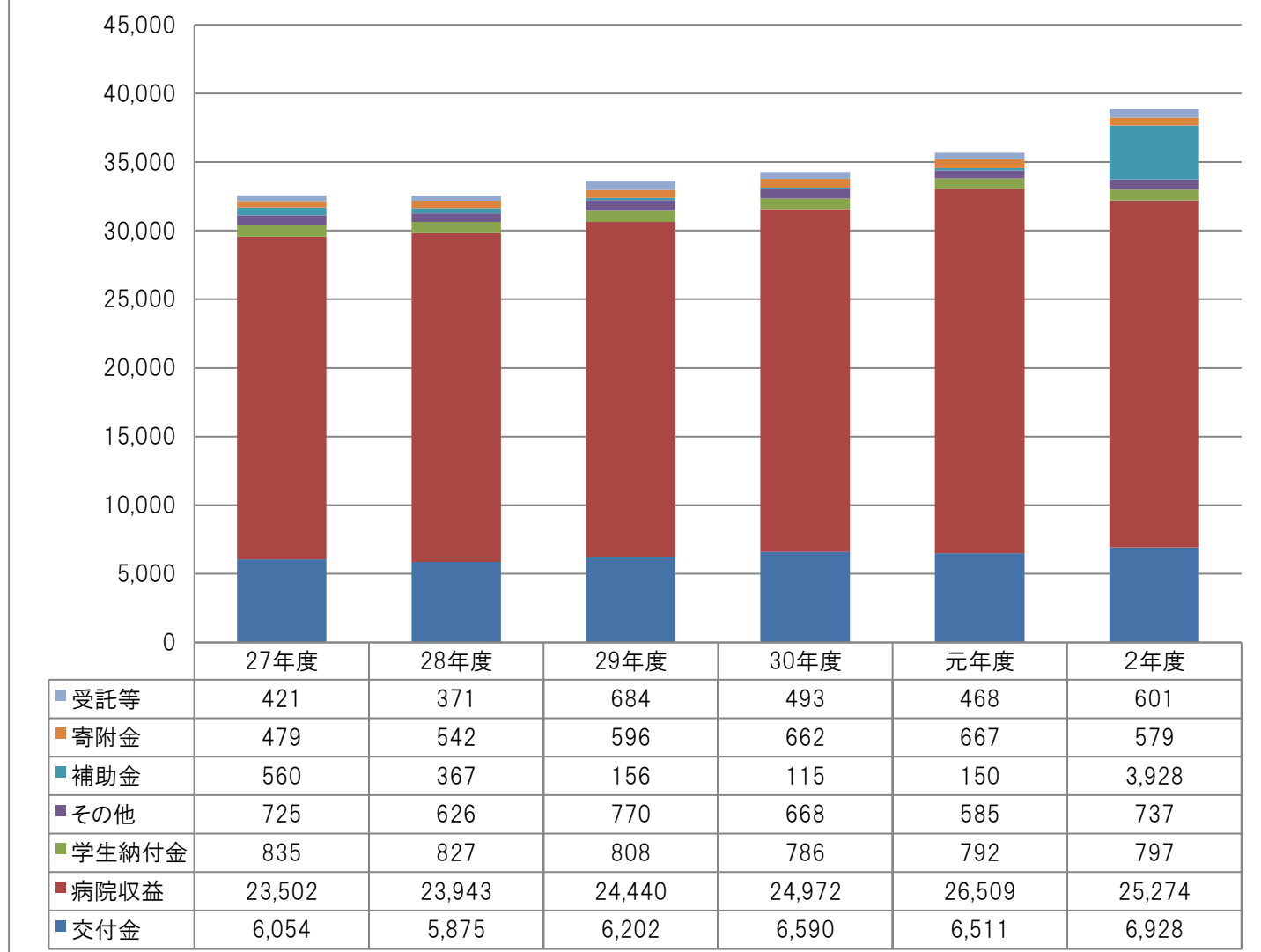


■教育経費	461	464	619	571	457	512
■教育研究支援経費	459	430	421	441	428	457
■受託研究費等	375	326	571	437	405	450
■研究経費	1,421	1,334	1,207	1,242	1,237	1,139
■診療経費	13,735	14,175	14,553	15,682	17,120	17,776
■一般管理費等	585	481	513	536	554	556
■人件費	15,445	15,215	15,646	15,615	15,817	15,956

(単位：百万円)

区分	2年度	構成比	費用説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
教育	教育経費	1.4%	・学生に対し行われる教育に要する経費	55	・備品費等の増55
	教育研究支援経費	1.3%	・附属総合情報センター(図書館含む)に要する経費	29	・図書費等の増29
研究	受託研究等	1.2%	・外部から委託を受けて行う受託研究 ・民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	45	・受託研究等に係る費用増45
	研究経費	3.1%	・研究に要する経費	▲ 98	・旅費等の減▲98
診療	診療経費	48.2%	・大学病院における診療の実施に要する経費	656	・医薬材料費の増249 ・機器賃借料の増104 ・新型コロナウイルス関連経費の増151 ・委託経費の増89
管理運営	一般管理費等	1.5%	・管理運営に要する経費 ・財務費用	2	・備品費等の増2
	人件費	43.3%	・一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等(受託に係る人件費は含まない)	139	・退職手当の増97 ・新型コロナウイルス関連経費の増96 ・共済費の減▲46

経常収益



(単位：百万円)

区分	2年度	構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
外部資金	受託等	1.5%	・ 受託研究 ・ 受託事業 ・ 共同研究	133	・ 受託研究等の収益化額の増133
	寄附金	1.5%	・ 奨学寄附金 ・ 寄附講座	▲ 88	・ 寄附金事業の収益化額の減▲88
	補助金	10.1%	・ 国、道等からの補助金収益	3,778	・ 新型コロナウイルス関連補助金の増3,789
その他	その他	1.9%	・ 研究関連収入（間接経費） ・ 財産貸付料収入 ・ 資産見返負債戻入 ・ 受取利息	152	・ 施設費収益の増9 ・ 特許料収入の増88 ・ 資産見返負債戻入の増43
学納金	学生納付金	2.1%	・ 授業料 ・ 入学料 ・ 検定料	5	・ 在学生数の増等による増5
診療	病院収益	65.1%	・ 附属病院収入（外来・入院）	▲ 1,235	・ 入院診療収益の減▲1,499 ・ 外来診療収益の増288 ・ 文書料収益の減▲24
交付金	運営費交付金	17.8%	・ 運営費交付金収入	417	・ 運営費交付金の受入額の増417

利益と利益処分の推移

(単位：百万円)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
経常収益	32,575	32,551	33,656	34,285	35,682	38,843
経常費用	32,481	32,426	33,531	34,528	36,021	36,847
経常利益	94	125	126	▲ 242	▲ 339	1,996
臨時損益	▲ 5	▲ 116	▲ 3	438	▲ 3	▲ 3
目的積立金取崩	0	0	0	0	0	0
繰越積立金取崩	0	0	0	276	199	0
当期総利益	89	9	122	472	▲ 143	1,993

当期総利益の内訳

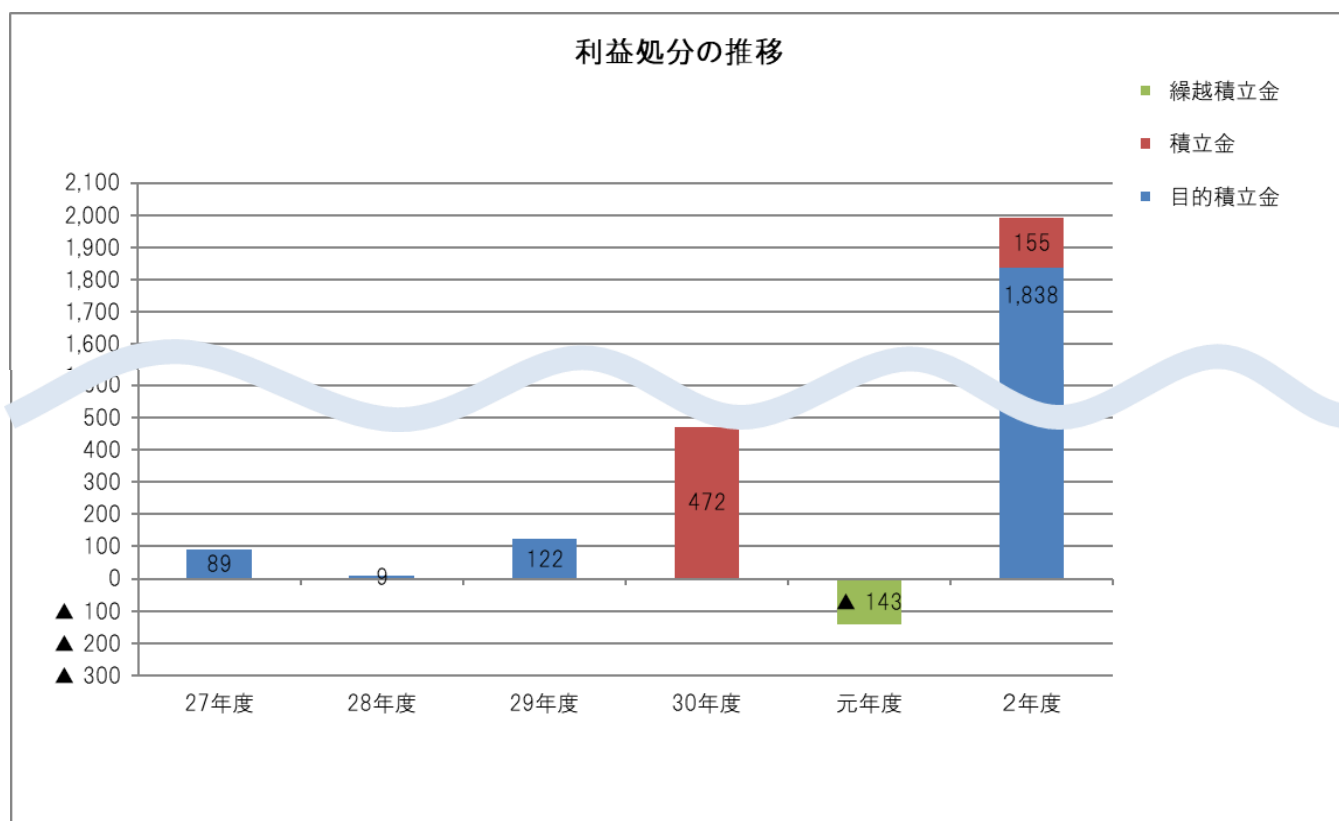
(単位：百万円)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
目的積立金	89	9	122	-	-	1,838
繰越積立金	-	-	-	-	▲ 143	-
積立金	-	-	-	472	-	155

経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。

当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益と目的・繰越積立金取崩を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。

利益処分の推移



2年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 1,993百万円	目的積立金 1,838	・入院・外来診療単価の増による収益の増
	積立金 155	・減価償却などの会計処理により生じる、現金の裏付けのない利益

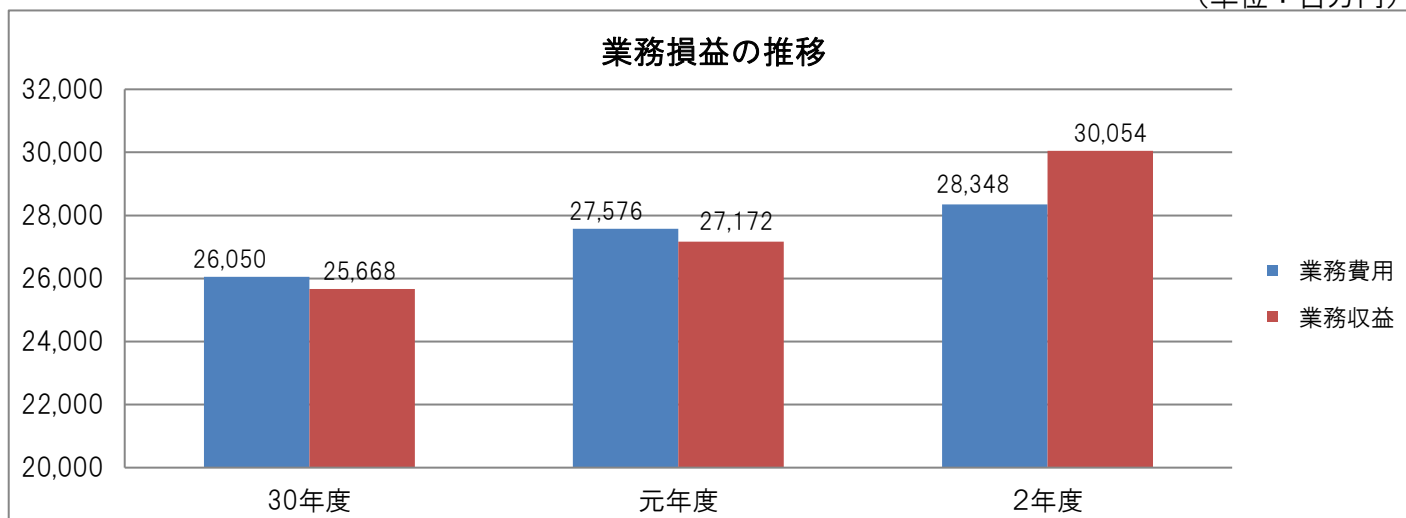
附属病院業務損益の推移

(単位：百万円)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
業務費用	24,022	24,334	24,943	26,050	27,576	28,348
業務収益	23,997	24,300	24,918	25,668	27,172	30,054
業務損益	▲ 25	▲ 34	▲ 25	▲ 382	▲ 404	1,706

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)



【業務費用】

(単位：百万円)

2年度		業務費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	87 0.3%	・ 受託研究費、受託事業費 ・ 財務費用	▲ 12	・ 受託研究費等の減▲12
人件費	10,484 37.0%	・ 臨床系教員 ・ 医員、研修医 ・ 看護師、技師、事務職員	127	・ 退職手当の増26 ・ 新型コロナウイルス対応に伴う特殊勤務手当の増96
診療経費	17,776 62.7%	・ 診療の実施に要する経費 (医薬品、診療材料、医療 消耗品器具費、委託費、 減価償却費、修繕費、 機器保守費、水道光熱費 等経費)	656	・ 医薬材料費の増249 ・ 機器賃借料の増104 ・ 新型コロナウイルス関連経費の増151 ・ 委託経費の増35

【業務収益】

(単位：百万円)

2年度		業務収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	4,199 14.0%	・ 受託研究、寄附金等の 外部資金収益 ・ 資産見返負債戻入等	3,848	・ 新型コロナウイルス関連補助金の増3,736
病院運営費交付金収益	581 1.9%	・ 附属病院に係る交付金	269	・ 運営費交付金の受入額の増269
病院収益	25,274 84.1%	・ 外来収益 ・ 入院収益 ・ 文書料	▲ 1,235	・ 入院診療収益減▲1,499 (入院患者数：217,486人) ・ 外来診療収益増288 (外来患者数：356,845人)

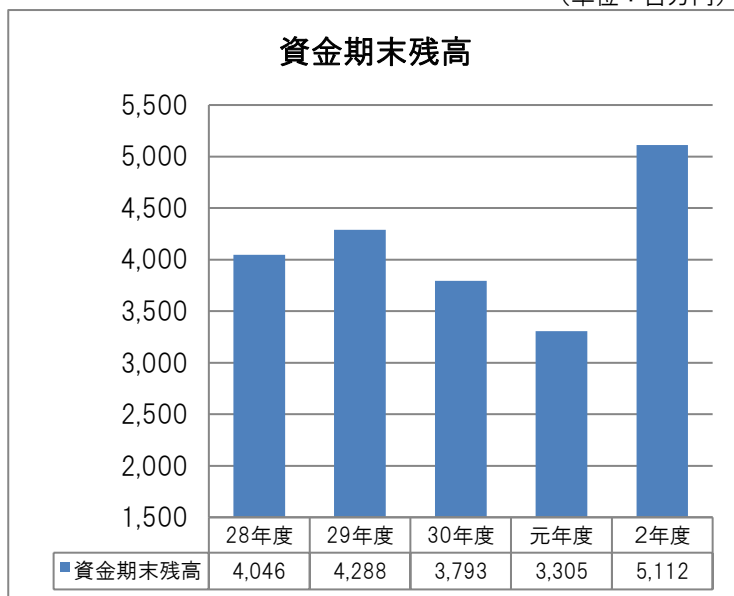
キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

表示区分	説明	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
①業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外） の取引に係る収入と支出の差額	2,415	1,193	1,454	1,381	1,137	3,917
	(収入) 運営費交付金、附属病院収入、 授業料、受託研究等、寄附金	32,312	32,300	32,854	34,308	35,666	38,451
	(支出) 人件費支出、原材料・商品・ サービス購入による支出	▲ 29,897	▲ 31,106	▲ 31,400	▲ 32,928	▲ 34,529	▲ 34,534
②投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入 と支出の差額	▲ 1,281	▲ 642	▲ 935	▲ 1,105	▲ 760	▲ 1,163
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 1,432	▲ 643	▲ 936	▲ 1,107	▲ 761	▲ 1,163
	(収入) 施設費による収入、資産売却に よる収入	572	585	586	1,093	681	372
	(支出) 建物・設備の取得、除却	▲ 2,004	▲ 1,227	▲ 1,522	▲ 2,201	▲ 1,442	▲ 1,535
	投資資産の取得及び売却の取引	151	1	1	2	1	1
	(収入) 定期預金の払戻、有価証券の償還	3,291	4,887	1,868	1,859	1,849	1,348
	(支出) 定期預金・有価証券の取得	▲ 3,140	▲ 4,886	▲ 1,867	▲ 1,857	▲ 1,848	▲ 1,347
③財務活動による キャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と 支出の差額	▲ 680	▲ 612	▲ 277	▲ 771	▲ 863	▲ 948
	(収入) 長期借入による収入	520	520	879	534	634	580
	(支出) 借入金の返済、利息の支払、 ファイナンスリース債務の返済	▲ 1,200	▲ 1,132	▲ 1,156	▲ 1,300	▲ 1,497	▲ 1,528
④資金 増減額	当期中の現預金（拘束性のない手元 現金・当座預金・普通預金）増減額	454	▲ 60	242	▲ 495	▲ 487	1,806
⑤資金 期首残高	前期末現預金残高	3,652	4,106	4,046	4,288	3,793	3,306
⑥資金 期末残高	当期末現預金残高	4,106	4,046	4,288	3,793	3,306	5,112

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)



○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表しています。

○損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。

○損益計算書だけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

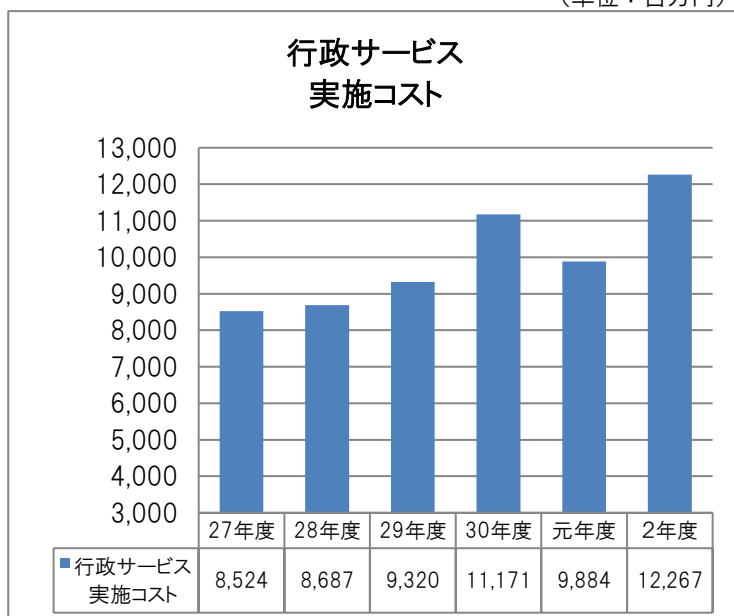
業務実施コストの推移

(単位：百万円)

	表示区分	説明	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
機会費用	国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	国や地方公共団体から市場価格よりも廉価で賃借している土地等（職員宿舍、課外活動敷地など）について、市場価格で賃借したならば得られなかった金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	202	6	519	2,279	1,251	1,363
	地方公共団体出資の機会費用等	出資金、地方公共団体から拠出された資本剰余金等について、その金額を市場で運用したならば得られなかった金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	—	21	14	—	2	46
損益外減価償却等	・ 損益外減価償却相当額 ・ 損益外減損損失相当額等	施設費等で取得した建物に係る減価償却費等は、損益計算書に費用として反映させていないが、最終的には住民等の負担となるため、業務運営費用と認識する。	1,207	1,235	1,242	1,162	1,370	1,396
	・ 引当外賞与増加見積額 ・ 引当外退職給付増加見積額	運営費交付金を財源とする教職員に係る賞与と退職金は、損益計算書に費用（引当金）として反映させないが、最終的には住民等の負担となるため業務運営費用と認識する。	144	806	790	356	▲ 50	230
業務費用	損益計算書上の費用	経常費用と臨時損失の合計	32,486	32,545	33,540	34,540	36,088	36,852
	(控除)自己収入等	自己収入（授業料、病院収益等） ※住民等の負担ではないので控除する。	▲ 25,515	▲ 25,925	▲ 26,785	▲ 27,166	▲ 28,777	▲ 27,620
行政サービス実施コスト			8,524	8,687	9,320	11,171	9,884	12,267

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)



○公立大学法人は、その業務を行うために、納税者である住民等から、財産（税金・土地・建物等）を負託されています。

○このため、「行政サービス実施コスト計算書」を作成して、最終的に住民等の負担となるコストを示しています。民間企業にはない財務諸表です。

○通常、コスト情報としては損益計算書中の費用の部が挙げられますが、そこから法人の自己収入分を減じたものに、制度上費用に含まれない退職給付引当金の負担増加額や、国・地方公共団体が政策的に免除している経費を加えることにより、大学の運営に要したコスト負担額をより明らかにするものです。

○財務指標（年度間比較）

指標	指標算出方法	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	増減（前年比較）	評価	
流動比率 【貸借対照表】	$流動資産 \div 流動負債$	137.4 %	138.5 %	132.5 %	143.0 %	129.6 %	146.6 %	17.0 %	高い値が良い	↑
	流動資産	9,060 百万円	9,343 百万円	10,032 百万円	9,921 百万円	9,107 百万円	12,571 百万円	3,464 百万円		
	流動負債	6,592 百万円	6,747 百万円	7,570 百万円	6,938 百万円	7,025 百万円	8,573 百万円	1,548 百万円		
自己資本比率 【貸借対照表】	$資本（純資産） \div （負債 + 資本（純資産））$	76.0 %	75.4 %	72.5 %	71.2 %	74.4 %	73.5 %	▲ 0.9 %	高い値が良い	↓
	資本（純資産）	35,954 百万円	36,288 百万円	35,711 百万円	35,534 百万円	42,210 百万円	43,367 百万円	1,157 百万円		
	負債	11,378 百万円	11,844 百万円	13,539 百万円	14,348 百万円	14,499 百万円	15,669 百万円	1,170 百万円		
	負債 + 資本（純資産）	47,332 百万円	48,131 百万円	49,250 百万円	49,882 百万円	56,709 百万円	59,037 百万円	2,328 百万円		
経常利益比率 【損益計算書】	$経常利益 \div 経常収益$	0.3 %	0.4 %	0.4 %	-0.7 %	▲ 1.0 %	5.1 %	6.1 %	高い値が良い	↑
	経常利益	94 百万円	125 百万円	126 百万円	▲ 242 百万円	▲ 339 百万円	1,996 百万円	2,335 百万円		
	経常収益	32,575 百万円	32,551 百万円	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	3,161 百万円		
人件費対 業務費 【損益計算書】	$人件費 \div 業務費$	48.4 %	47.6 %	47.4 %	45.9 %	44.6 %	44.0 %	▲ 0.6 %	低い値が良い	↑
	人件費	15,445 百万円	15,215 百万円	15,646 百万円	15,615 百万円	15,817 百万円	15,956 百万円	139 百万円		
	業務費	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	827 百万円		
一般管理費対 業務費 【損益計算書】	$一般管理費 \div 業務費$	1.8 %	1.5 %	1.5 %	1.6 %	1.6 %	1.5 %	▲ 0.1 %	低い値が良い	↑
	一般管理費	577 百万円	474 百万円	508 百万円	536 百万円	554 百万円	555 百万円	1 百万円		
	業務費	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	827 百万円		
外部資金比率 【損益計算書】	$(受託研究収益 + 受託事業等収益 + 共同研究収益 + 寄附金収益) \div 経常収益$	2.8 %	2.8 %	3.8 %	3.4 %	3.2 %	3.0 %	▲ 0.2 %	高い値が良い	↓
	①受託研究収益 + 受託事業等収益 + 共同研究収益	420 百万円	371 百万円	684 百万円	492 百万円	468 百万円	601 百万円	133 百万円		
	②寄附金収益	479 百万円	542 百万円	596 百万円	662 百万円	667 百万円	579 百万円	▲ 88 百万円		
	経常収益	32,575 百万円	32,551 百万円	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	3,161 百万円		
外部資金比率 (科学研究費 補助金を含む) 【損益計算書】 【附属明細書】	$(受託研究収益 + 受託事業等収益 + 共同研究収益 + 寄附金収益 + 科学研究費補助金) \div 経常収益$	3.8 %	3.9 %	4.9 %	4.3 %	4.2 %	4.0 %	▲ 0.2 %	高い値が良い	↓
	上記 ①+②	899 百万円	913 百万円	1,280 百万円	1,154 百万円	1,135 百万円	1,180 百万円	45 百万円		
	科学研究費補助金	342 百万円	346 百万円	368 百万円	335 百万円	365 百万円	383 百万円	18 百万円		
	経常収益	32,575 百万円	32,551 百万円	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	3,161 百万円		
診療経費比率 【損益計算書】	$診療経費 \div 附属病院収益$	58.4 %	59.2 %	59.5 %	62.8 %	64.6 %	70.3 %	5.7 %	低い値が良い	↓
	診療経費	13,735 百万円	14,175 百万円	14,553 百万円	15,682 百万円	17,120 百万円	17,776 百万円	656 百万円		
	附属病院収益	23,502 百万円	23,943 百万円	24,440 百万円	24,972 百万円	26,509 百万円	25,274 百万円	▲ 1,235 百万円		
1病床あたりの 附属病院収益 【損益計算書】	$附属病院収益 \div 病床数$	25.1 百万円	25.5 百万円	26.1 百万円	28.8 百万円	30.3 百万円	28.9 百万円	▲ 1.4 百万円	高い値が良い	↓
	附属病院収益	23,502 百万円	23,943 百万円	24,440 百万円	24,972 百万円	26,509 百万円	25,274 百万円	▲ 1,235 百万円		
	病床数	938 床	938 床	938 床	867 床	874 床	874 床	0 床		
学生1人あたりの 教育経費 【損益計算書】	$教育経費 \div 学生数$	341 千円	347 千円	474 千円	449 千円	352 千円	386 千円	34 千円	高い値が良い	↑
	教育経費	461 百万円	464 百万円	619 百万円	571 百万円	457 百万円	512 百万円	55 百万円		
	学生数	1,352 人	1,336 人	1,305 人	1,272 人	1,299 人	1,325 人	26 人		
教員1人あたりの 研究費 【損益計算書】	$研究経費 \div 教員数$	3,672 千円	3,483 千円	3,079 千円	3,074 千円	3,085 千円	2,848 千円	▲ 237 千円	高い値が良い	↓
	研究経費	1,421 百万円	1,334 百万円	1,207 百万円	1,242 百万円	1,237 百万円	1,139 百万円	▲ 98 百万円		
	教員数	387 人	383 人	392 人	404 人	401 人	400 人	▲ 1 人		
教育経費対 業務費比率 【損益計算書】	$教育経費 \div 業務費$	1.4 %	1.5 %	1.9 %	1.7 %	1.3 %	1.4 %	0.1 %	高い値が良い	↑
	教育経費	461 百万円	464 百万円	619 百万円	571 百万円	457 百万円	512 百万円	55 百万円		
	業務費	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	827 百万円		
研究経費対 業務費比率 【損益計算書】	$研究経費 \div 業務費$	4.5 %	4.2 %	3.7 %	3.6 %	3.5 %	3.1 %	▲ 0.4 %	高い値が良い	↓
	研究経費	1,421 百万円	1,334 百万円	1,207 百万円	1,242 百万円	1,237 百万円	1,139 百万円	▲ 98 百万円		
	業務費	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	827 百万円		

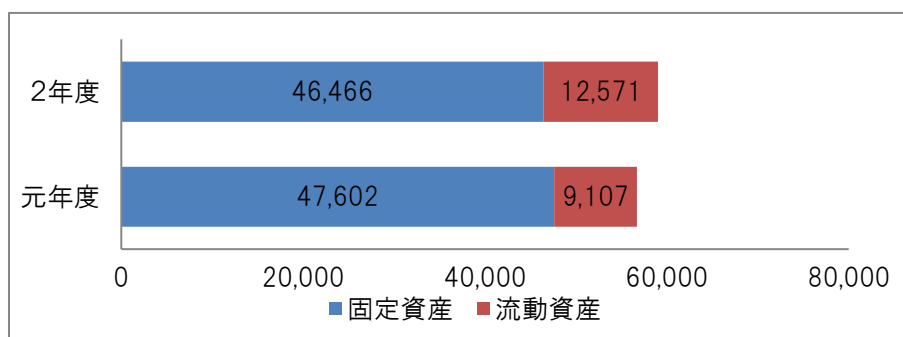
(※) 財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えないが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載した。

資料編

○貸借対照表

資産の部

59,037 百万円
 対前年度
 2,328 百万円

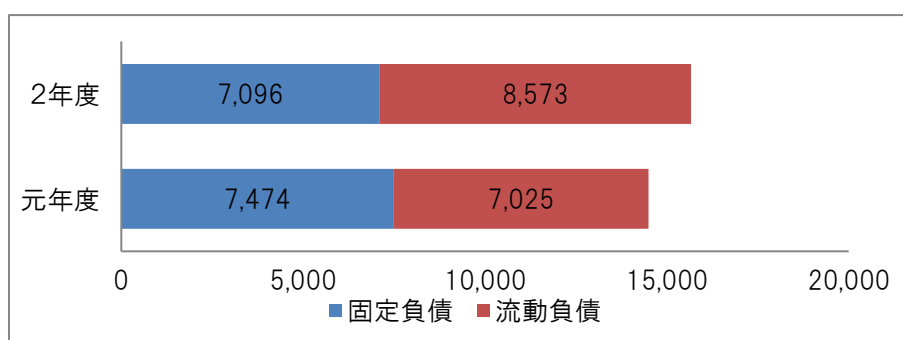


資産の約8割は、土地・建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により道から承継されたものです。

令和2年度においては、固定資産が減価償却費の増により、減少した一方、流動資産が現金及び預金の増により増加したことから、資産が増加しています。

負債の部

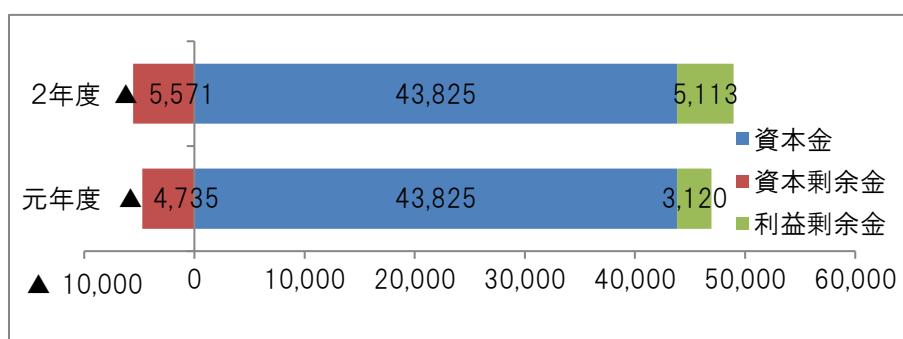
15,669 百万円
 対前年度
 1,170 百万円



負債は、会計基準上の分類である固定・流動の別のほかに、将来的に支払義務を負う債務（借入金等）と、支払義務のない会計的負債（資産見返負債等）に分類できます。

純資産の部

43,367 百万円
 対前年度
 1,157 百万円



純資産には、公立大学法人化の際に道から出資された資本金（道出資金）のほか、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、業務の遂行上生じた利益からなる利益剰余金があります。

令和2年度は、当期総利益が発生したことから、利益剰余金が増加しています。

資 産

土地	11,880 百万円	対前年度	0 百万円
建物等	27,202 百万円	対前年度	▲ 928 百万円
建設仮勘定	26 百万円	対前年度	7 百万円

本学は札幌市内に約10万㎡の敷地を有し、キャンパスのほか、臨床教育研究棟、附属病院、基礎医学研究棟、国際医学交流センター、記念ホールなどの施設を有しています。

工具器具備品	6,327 百万円	対前年度	▲ 197 百万円
図書	833 百万円	対前年度	▲ 24 百万円

工具器具備品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得など、適切に設備等を更新している一方、減価償却が発生していることから、減少となっています。

図書については、教育研究を行う上で基礎となる重要な資産として位置づけており、教育・研究の質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	5,112 百万円	対前年度	1,806 百万円
-------	-----------	------	-----------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。令和2年度においては、当期総利益が発生したことにより、増加となっています。

未収入金	6,826 百万円	対前年度	1,530 百万円
未収学生納付金収入	0 百万円	対前年度	▲ 1 百万円
未収附属病院収入	4,687 百万円	対前年度	▲ 91 百万円
その他未収入金	2,139 百万円	対前年度	1,622 百万円

期末の未収入金は、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、それ以外の未収入金（受託研究等、受託事業等の未収入金など）からなります。

令和2年度末においては、新型コロナウイルス関連補助金の未収額が増加したことなどにより、増加となっています。

負 債

資産見返負債	3,136 百万円	対前年度	504 百万円
--------	-----------	------	---------

道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産（償却資産）の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。

借入金（固定負債）	1,549 百万円	対前年度	▲ 59 百万円
借入金（流動負債）	639 百万円	対前年度	29 百万円

道からの借入金は附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度借り入れを行っています（1年据え置きの4年間での償還）。
なお、1年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上しています。

運営費交付金債務	362 百万円	対前年度	315 百万円
----------	---------	------	---------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用の発生と同時に収益化すべきものについては、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められています。

寄附金債務	1,107 百万円	対前年度	79 百万円
-------	-----------	------	--------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に、費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上しています。

未払金	5,780 百万円	対前年度	975 百万円
-----	-----------	------	---------

ほとんどが年度末の各種請求に対する支払債務であり、それらは翌年度の当初に支払いが行われます。

純 資 産

資本金	43,825 百万円	対前年度	0 百万円
-----	------------	------	-------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。

資本剰余金	▲ 5,571 百万円	対前年度	▲ 836 百万円
-------	-------------	------	-----------

非償却資産の取得、施設費や積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少などを計上しています。

利益剰余金	5,113 百万円	対前年度	1,993 百万円
-------	-----------	------	-----------

業務に関連して発生した剰余金を示します。令和2年度は当期総利益が1,993百万円となっています。

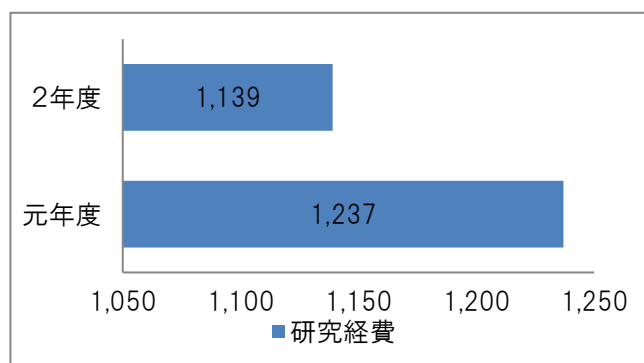
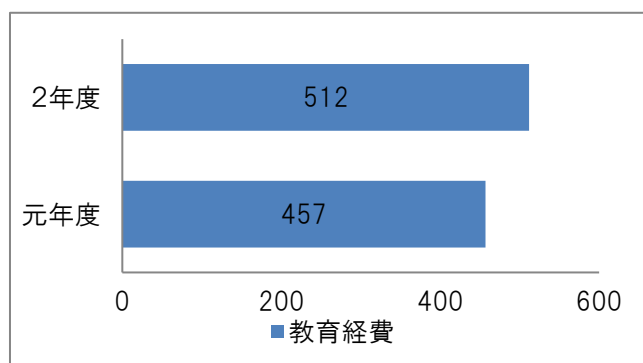
○損益計算書

経常費用

教育経費	研究経費
512 百万円 対前年度 55百万円	1,139 百万円 対前年度 ▲98百万円

・ 入学試験、学部教育など学生等に対して行われる教育に要する経費です。奨学金（授業料等の減免額に相当）、教育環境の維持費用等が含まれています。

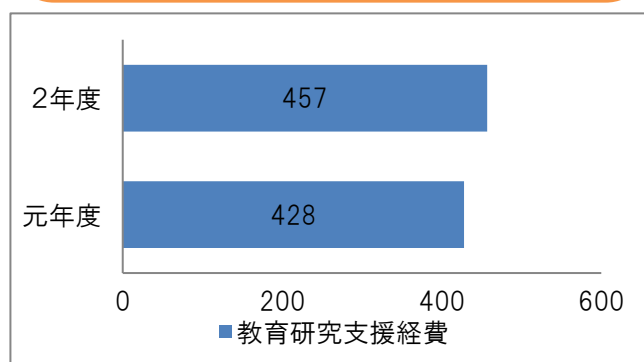
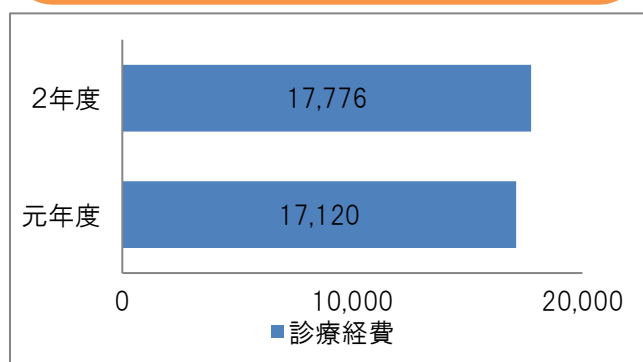
・ 各学部や研究所等における研究に要する経費です。



診療経費	教育研究支援経費
17,776 百万円 対前年度 656百万円	457 百万円 対前年度 29百万円

・ 附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。
 ・ 令和2年度は医療材料費等が増加しています。

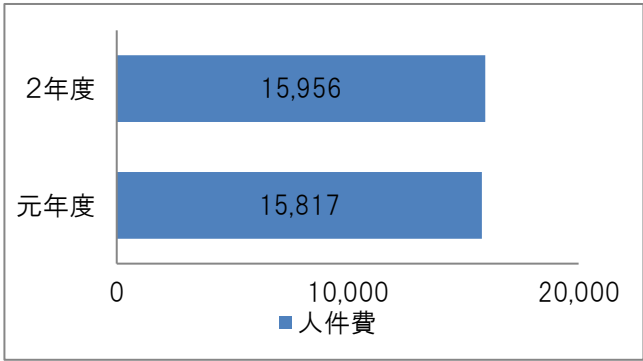
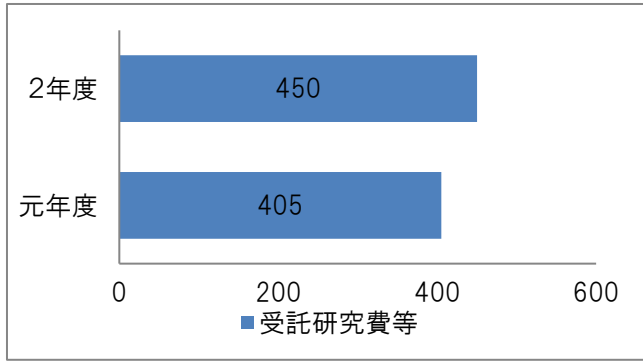
・ 附属総合情報センター等の大学全体の教育・研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書の取得については、資産の部の図書に含まれています。



受託研究費等	人件費
450 百万円 対前年度 45百万円	15,956 百万円 対前年度 139百万円

・受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。

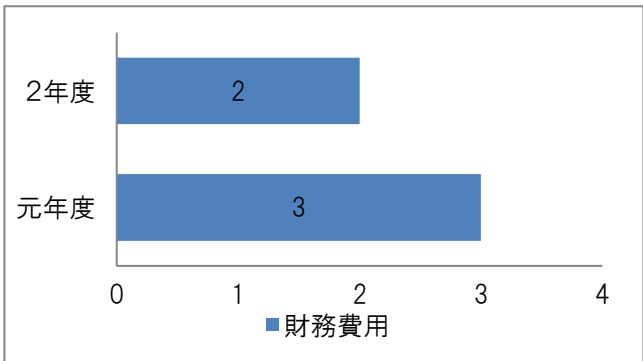
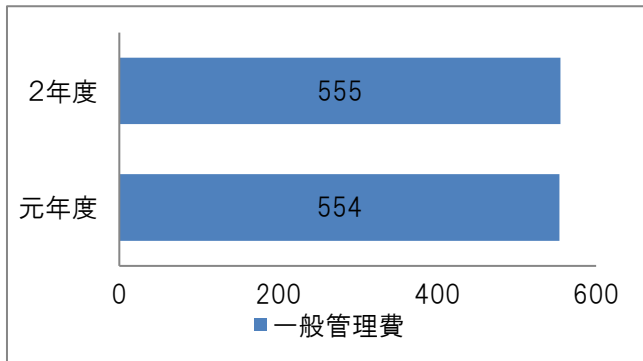
・役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれます。
 ・令和2年度は退職手当の増加、新型コロナウイルス対応に伴う特殊勤務手当の増加等により人件費が増加しています。



一般管理費	財務費用
555 百万円 対前年度 1百万円	2 百万円 対前年度 ▲1百万円

・大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれます。

・道からの借入金に係る利息の支払いです。

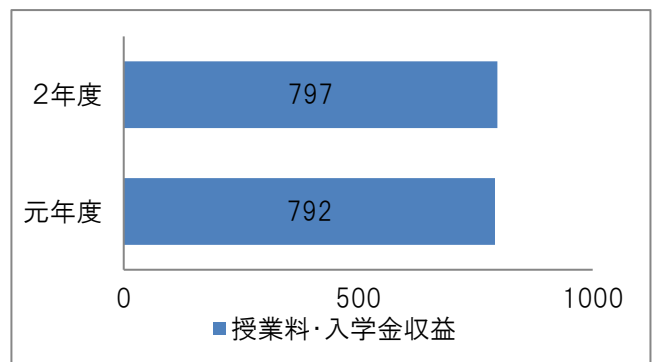
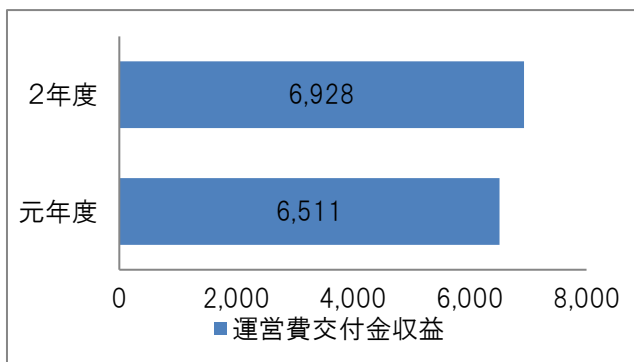


経常収益

運営費交付金収益	授業料・入学金収益
6,928 百万円 対前年度 417百万円	797 百万円 対前年度 5百万円

- ・大学運営を行うために道から措置される交付金による収益です。
- ・令和2年度は運営費交付金の受入額が増加しています。

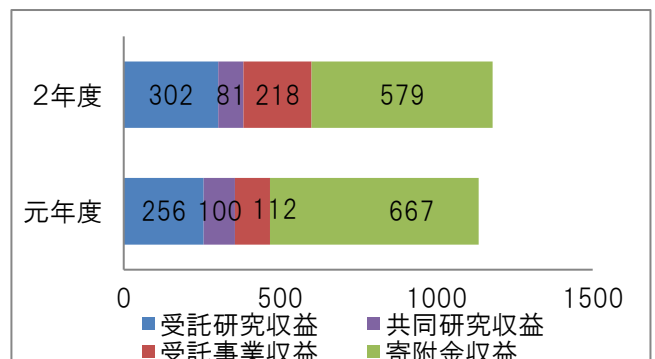
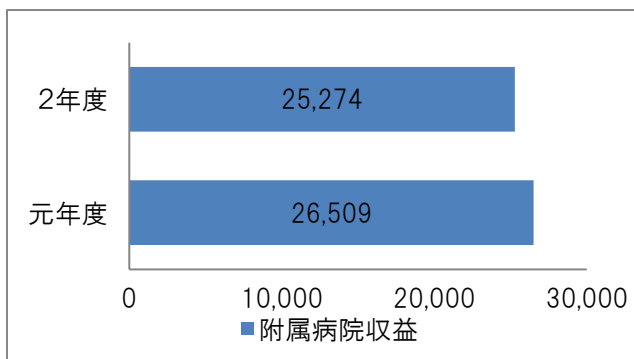
- ・授業料や入学料、検定料などの学生納付金による収益です。
- ・令和2年度は、在学生の増加により、収益が増加しています。



附属病院収益	受託研究・寄附金収益
25,274 百万円 対前年度 ▲1,235百万円	1,180 百万円 対前年度 45百万円

- ・病院における診療による収益です。
- ・令和2年度は、前年と比較して入院・外来ともに患者数が減少したことに伴い診療収益が減少しています。

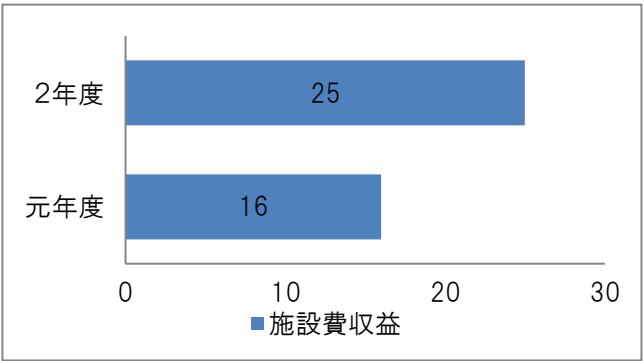
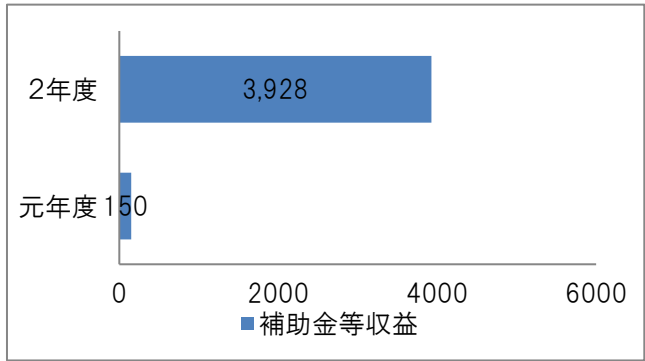
- ・受託研究、共同研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。
- ・令和2年度は受託事業収益が増加しました。



補助金等収益	施設費収益
3928 百万円 対前年度 3,778百万円	25 百万円 対前年度 9百万円

- ・国等から交付された大学改革推進等補助金（GP）等の受入に伴う業務実施収益です。
- ・令和2年度は、新型コロナウイルス関連の補助事業の増により、収益化額が増加しています。

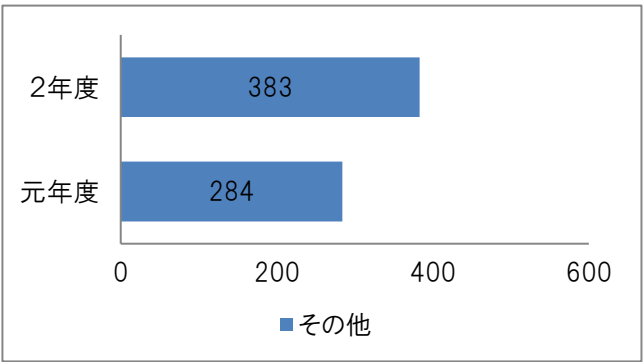
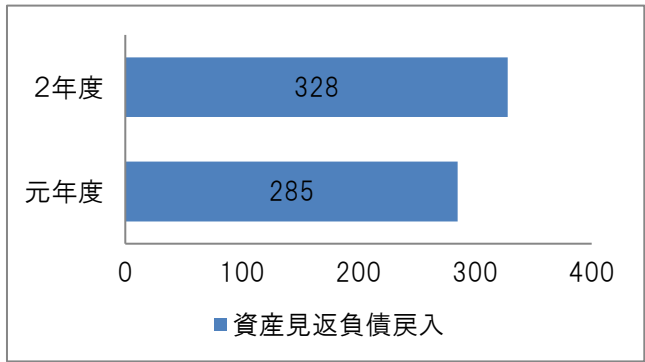
- ・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。



資産見返負債戻入	その他
328 百万円 対前年度 43百万円	383 百万円 対前年度 99百万円

- ・固定資産を取得した際に計上した資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、地方独立行政法人会計の特徴的な科目です。

- ・財産貸付料収入などの雑益が含まれます。



財務報告書 2021

令和3年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局
経営企画課財務室